

道央都市圏都市交通調査協議会・幹事会 第2回協議会・第2回幹事会資料

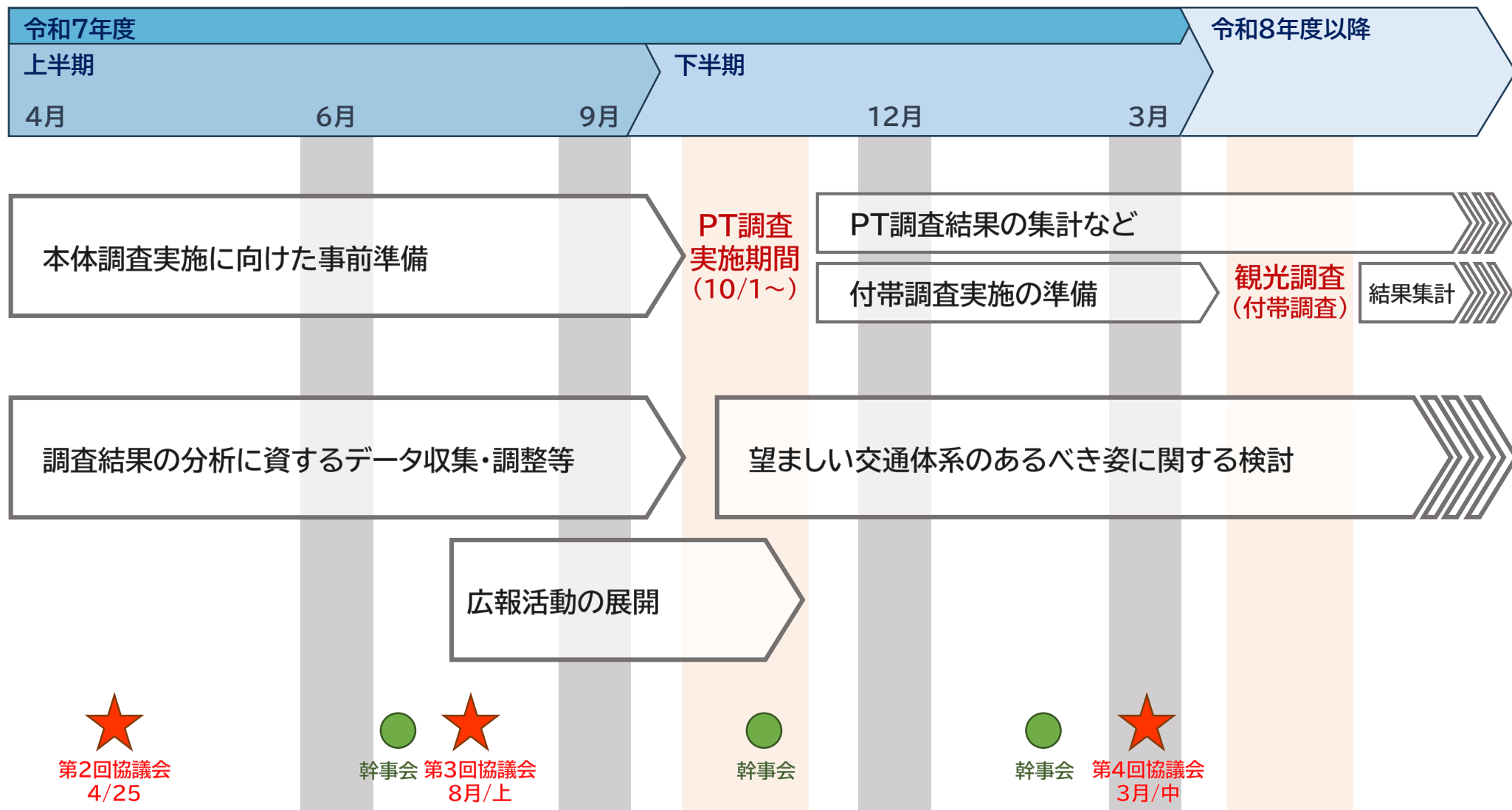
2025.4.25

検討スケジュール,前回協議会でのご意見

協議会の議論・検討に関する全体スケジュール

協議会・幹事会における議題など

- 令和7年度の上半期は、秋の実態調査に向けた準備事項(調査項目・調査方法など)を中心に検討を深める。
- 下半期は、調査票の回収状況等を適宜共有するとともに、将来の望ましい交通のあり方等について議論を深める。
- なお、調査費平準化等の観点から、観光実態調査(付帯調査)は令和8年度に実施する考え。(※詳細は引き続き検討)



前回協議会・幹事会での主なご意見

第1回協議会におけるご議論・委員ご意見(要約)	検討・整理におけるポイント
調査体系 調査方法 □ 将来の伸びる需要に対応してきた過去調査とは社会背景が変化しており、国の新たなガイダンスも参考にしながら、複雑多岐の社会問題に対応する必要がある。 □ 経済的な側面も含めて、社会課題を克服し活力を向上させていくためには若い世代の方々が満足いく形で働けることが重要。若い世代の回収率を高めるような調査が達成できるとよい。 □ 国勢調査や全国道路・街路交通情勢調査(道路交通センサス)など、同時期に実施される他調査と連携を図り、調査対象者に不信感を与えないような配慮が大切。	➤ 先々の分析・検討を見据えて、道央都市圏の計画課題、都市交通施策を踏まえた調査になっているかを改めてチェック。 ➤ 若い世代から必要十分な回答数が得られるよう、調査方法に関する工夫を検討すると共に、対象者の回答意欲を高めるような広報・インセンティブを検討。
調査票 □ 回答していただく方のみならず、問合せに対応するスタッフ側の効率化や負担軽減も検討するべき。 □ 調査の主旨を踏まえた「外出」の定義をすることや、義務的活動・非義務的活動の区別をしっかりと整理することで、有用な調査データとなることが期待できる。 □ 調査対象日が出張日だったらどのように答えるかなど、回答者が困らないために記載例を充実させるなど配慮していただけるとよい。 □ 交通手段が多様化している昨今、デマンドバスなど様々な交通手段をどのように答えるか回答者が悩まないように。我々と認識が合っていることが重要。 □ Web調査は、回答者が直感的に利用しやすいユーザーインターフェースの構築が重要。順序バイアスなども意識されたシステムづくりを心掛けられたい。 □ (その他、調査項目等に関するご指摘があった)	➤ 回答時に悩まないよう調査対象者の答えやすさに留意し、調査主旨の説明、記載例の充実、選択肢の明確化など、全体的な調査の質の向上を図る。 ➤ サポートセンターの体制などを整理し、調査実施環境を具体化させ、調査の流れや問題点を確認。(※他圏域での実績や前回調査の経験などを踏まえる) ➤ 国が開発するWEB調査システムの検証を十分に行った上で、道央都市圏における適用性を確認し、秋の調査実施に間に合うようシステムを構築。 ➤ 世帯票・個人票・意識調査票の内容を再精査するとともに、封筒やあいさつ文なども含めた調査物件の確定。

本日のご議論について

説明用配布資料の構成

□ 検討スケジュール,前回協議会でのご意見		P1
□ 調査物件(調査票・記載例・あいさつ状ほか)		P5
□ 調査スケジュールについて		P19
□ 冬の移動実態把握		P23
□ WEB調査システム		P26
□ 広報計画		P28

ご議論をいただきたい事項

道央都市圏第5回パーソントリップ調査の調査物件

- 前回ご議論を踏まえた修正版調査票(世帯票・個人票・意識調査票)について
- 調査対象者のお手元に届く郵送物(封筒・あいさつ状など)について

調査データを活用した分析方法

- 拡大処理やモデル作成・冬期補正に有効な様々な統計データ等について

調査物件（調査票・記載例・あいさつ状ほか）

パーソントリップ調査の体系

第5回道央PTにおける実態調査の手法(調査の種類)

■ 本体調査(トリップ調査)

- 誰が、いつ、どこに、何の目的で、どのような交通手段で移動し、こういった活動をしたかを把握
- 回答者の属性を把握する「世帯票」、トリップ(移動)を把握する「個人票」の2種類の調査票を配布



▲ 世帯票



▲ 個人票(平日)

■ 付帯調査

- 本体調査では捉えきれない交通行動や活動意識などを把握するための調査。本体調査と組み合わせることで、幅広い分析を可能とする、交通施策のエビデンスを得るなど、圏域の課題にあわせて内容を設計
- 調査対象者を半数に分けて、休日の行動を捉える「日曜調査」と、意向行動を捉える「個人意識調査」を実施
- 加えて、ETC2.0プローブデータやKLA※といった複数のビッグデータを活用し、移動・活動の季節変化や、圏域外居住者の動きを捉える

※ KDDI Location Analyzer(GPS位置情報を活用した人流データ)



▲ 個人票(日曜)



▲ 個人意識調査



▲ 様々なビッグデータ
(収集のイメージ)

■ 補完調査

- 本体調査・付帯調査から整理する予測モデルの再現性検証や拡大係数の設定等を目的に必要な調査を検討
- 国勢調査、全国道路・街路交通情勢調査(道路交通センサス)、交通管制センターのデータ、各交通事業者が保有するデータなど様々な統計データ等を活用予定。(不足する場合は実査による補完も検討)

スクリーンライン調査	河川などの閉鎖された断面を通過する交通量を観測する調査
コードンライン調査	自動車で調査圏域外から流出入する圏域外居住者の流動を把握する調査(調査圏域境界で観測)



▼コードンライン
調査地点
(調査圏域境界)

ご議論を踏まえた個人票の修正に関する視点

※手引き:このページでは『調査項目及びデータの標準的な仕様(令和6年6月 国土交通省 都市局 都市計画課)』を指す

❑ 他圏域の事例(実際に使われた調査票)や国土交通省が定める手引きを参考に「施設の種類」等を再整理。(例:ドラッグストアの追加)

❑ 整理に際しては、第4回道央都市圏PT調査との比較が可能となることも考慮。

前回調査・他圏域の事例

今回調査の分類

第4回道央PT調査	山形都市圏	松山都市圏	第5回道央PT調査	
			施設の種類	施設補足
1 住宅・寮	1 住宅・寮	1 住宅・寮	1 住宅・寮	一戸建て住宅、集合住宅、アパート、マンション、寮や下宿
2 学校・教育施設・幼稚園・保育施設	2 学校・幼稚園・保育園	2 学校・教育施設・研究施設	2 学校・教育施設・幼稚園・保育園・研究施設	幼稚園、小・中・高等学校、大学、教習所、専門学校など各種学校、研究所、試験場、塾、けいこ場など
3 文化・宗教施設	3 その他教育施設(塾・予備校・稽古場・学童クラブ等)	3 文化・宗教施設	3 文化・宗教施設	図書館、博物館、美術館、コンサートホール、公民館、市民会館、寺社、教会など
4 医療・厚生・福祉施設	4 病院・診療所・整体院など	4 医療・厚生・福祉施設	4 医療・厚生・福祉施設	病院、診療所、療養所、産院、保健所、保育所、老人ホーム、託児所、浴場、理容・美容院、クリーニング店、コインランドリー、保養所など
	5 福祉施設(高齢者・障がい者・老人ホームなど)			
	6 温泉・浴場(日帰り)			
	7 美容院・クリーニング店など			
	8 図書館・博物館・美術館			
	9 劇場・ホールなど			
	10 公民館・集会所・コミュニティセンター			
5 事務所・会社・銀行	11 事務所・会社・銀行・郵便局・農協	5 事務所・会社・銀行	5 事務所・会社・銀行	事務所、銀行、証券会社、新聞社、放送局、その他商社、設計事務所など
6 官公庁	12 官公庁・警察・消防	6 官公庁	6 官公庁	支庁、市役所、町・村役場、支所、出張所、郵便局、警察署、消防署、公社、公団、気象台、栽培所など各行政団体の施設及び対市民的・公的サービスを行うための施設
	13 問屋・卸売市場	7 問屋・卸売市場		
7 スーパー・デパート	14 スーパー・デパート・ショッピングセンター	8 小型商店(個人商店・コンビニ等)	7 スーパー・デパート・ドラッグストア	スーパーマーケット、デパート、ドラッグストアなど
8 コンビニエンスストア	15 コンビニエンスストア	9 大型商店(大型スーパー、デパート等)	8 コンビニエンスストア	コンビニエンスストア
9 飲食店	16 その他小売店(コンビニを除く)	10 飲食店	9 飲食店	食堂、喫茶店、カフェ、レストラン、居酒屋など
10 その他商業施設(個人商店)	17 産直市場	11 その他商業施設(個人商店)	10 その他商業施設	小規模小売店舗、ガソリンスタンド、卸売問屋、卸売市場などの各種市場
	18 飲食店			
11 娯楽施設	19 宿泊施設・ホテル	12 宿泊・娯楽施設	11 娯楽施設	バー、インターネットカフェ、クラブ、劇場、映画館、ボーリング場、ゴルフ練習場、遊園地、動物園、植物園、水族館など
12 宿泊施設・ホテル	20 娯楽施設		12 宿泊施設・ホテル	旅館、ホテル、宿泊所など
			13 コワーキングスペース・レンタルオフィス・シェアオフィス	コワーキングスペース、共有オフィス、貸し会議室など
13 工場・作業場	21 工場・倉庫	13 工場・作業場	14 工場・作業場	各種工場、作業場など
14 交通・運輸施設	22 交通施設(駅・バス停・空港など)	14 交通・運輸施設	15 交通・運輸施設	鉄道駅、空港、港湾、停留所、車庫、バスターミナル、駐車場など
15 倉庫・物流ターミナル	23 研究所・試験所	15 供給・処理施設	16 倉庫・物流ターミナル	倉庫、貯蔵所、資材置場、配送ターミナルなど
		16 倉庫		
16 公園・緑地	24 公園・緑地・海・山・川	17 公園・緑地	17 公園・緑地・海・山・川	公園、緑地、海、山、川などの自然地
	25 遊園地・動植物園・水族館			
17 体育・レクリエーション施設	26 スポーツ施設	18 体育・レクリエーション施設	18 体育・レクリエーション施設	体育館、競技場、野球場、ゴルフ場、テニスコートなど
18 農林漁業作業地・施設(田畑も含む)	27 農林漁業の現場	19 農林漁業作業地・施設	19 農林漁業作業地・施設(田畑も含む)	農場、牧場、家畜飼育所、水産養殖場、田畑、山林、漁場など
19 工事現場等		20 工事現場等・その他	20 工事現場等	工場現場など
20 その他	28 その他		21 その他	ごみ処理場、発電施設、ガス供給所、上下水道施設、火葬場、し尿処理施設など上記1〜20に該当しない施設

- 【今回の施設の種類】
- 【生活系施設】
1. 住宅・寮
 2. 学校・教育施設・幼稚園・保育園・研究施設
 3. 文化・宗教施設
 4. 医療・厚生・福祉施設
- 【事務所・商業系施設】
5. 事務所・会社・銀行
 6. 官公庁
 7. スーパー・デパート・ドラッグストア
 8. コンビニエンスストア
 9. 飲食店
 10. その他商業施設
 11. 娯楽施設
 12. 宿泊施設・ホテル
 13. コワーキングスペース・レンタルオフィス・シェアオフィス
- 【工業系施設】
14. 工場・作業場
 15. 交通・運輸施設
 16. 倉庫・物流ターミナル
- 【公園・緑地・その他】
17. 公園・緑地・海・山・川
 18. 体育・レクリエーション施設
 19. 農林漁業作業地・施設(田畑も含む)
 20. 工事現場等
 21. その他

※赤字は追加および表現を修正したもの

※「施設補足」は調査票に同封する『調査票の記入のしかた』に掲載予定

ご議論を踏まえた個人票の修正に関する視点

※手引き:このページでは『調査項目及びデータの標準的な仕様(令和6年6月 国土交通省 都市局 都市計画課)』を指す

- 交通手段分類は、近年の交通環境を踏まえて編纂された国土交通省の手引きに記載の標準分類を基本とする。
- 加えて、道央都市圏における交通体系など地域特性を踏まえ、今回調査の交通手段の種類を設定。

前回調査の実績・ガイダンスの分類

分類の視点

今回調査の分類

第4回PT調査	調査項目及びデータの標準的な仕様による標準手段分類			分類の視点	今回の交通手段の種類
	大分類	中分類	小分類		
JR	鉄道	鉄道	鉄道・地下鉄	道央都市圏で運行されているJR、地下鉄、路面電車、ロープウェイ、ケーブルカーを区分 地下鉄の利用者数を把握するために、JRと地下鉄を区分	鉄道
地下鉄			地下鉄		地下鉄
路面電車			路面電車		路面電車
			モノレール・新交通 新幹線		ロープウェイ、ケーブルカー等
路線バス (含都市間バス)	路線バス	路線バス・コミュニティバス	路線バス、BRT コミュニティバス	既定の路線で不特定多数を輸送しているバスを区分	都市間バス・路線バス・コミュニティバス
			高速バス、都市間バス		
タクシー・ハイヤー	タクシー・ 送迎バス等	タクシー・ハイヤー	タクシー、ハイヤー 介護タクシー、福祉有償運送	標準分類の中分類で区分	タクシー・ハイヤー
		デマンド交通等	乗合タクシー デマンドバス	道央都市圏内で運行開始 近年、導入されているため、乗合タクシー・デマンドバス等として区分	ライドシェア デマンド交通 (乗合タクシー、デマンドバス等)
自家用バス、貸切バス (含送迎バス)		送迎バス・サービス	自家用バス、貸切バス、企業や学校等の送迎バス・スクールバス、病院・商業施設が運行する送迎バス、福祉バス	特定の利用目的の送迎サービスは送迎バスとして区分 有料の送迎サービスは観光バス、貸切バスに区分	送迎バス (スクールバス、福祉バス等)
乗用車	自動車	乗用車	乗用車	標準分類の小分類で区分	観光バス、貸切バス
軽乗用車			軽乗用車		
貨物自動車 (含ライトバン)		貨物車	貨物自動車(ライトバンを含む)・ 大型トラック・小型トラック		
軽貨物車			軽貨物車・軽トラック(特殊自動車含む)		
		レンタカー・ カーシェアリング	レンタカー	利用は個人票の設問(4) 「どの自動車を利用したか」で把握	
			カーシェアリング		
スクーター等の 自動車二輪車 (50CC以下)	原付・バイク	原付・バイク	原動機付二輪車(50CC以下)・ スクーター、原付バイク	道路交通法の改正(2025年4月1日)を踏まえて区分	二輪(原付)
オートバイ等の 自動二輪車 (50CCをこえる)			自動二輪車(50CC超過)・オートバイ		
自転車 (含電動アシスト付き)	自転車	自転車	自転車(電動アシスト付、キックボード含む)	標準分類の中分類、小分類で区分	自転車 (電動アシスト付含む)
		レンタサイクル・ シェアサイクル	レンタサイクル、シェアサイクル、 コミュニティサイクル		
		パーソナルモビリティ (電動キックボード等)	電動キックボード その他パーソナルモビリティ		
徒歩	徒歩・車いす	徒歩・車いす	徒歩	標準分類の中分類で区分	徒歩
車いす(含原動機付き)			車いす		
			電動車いす、シニアカー、電動三輪車		車いす、電動車いす、シニアカー
船舶	その他	船舶、フェリー	船舶、フェリー	道央都市圏の内外交通で利用があるため、標準分類の小分類で区分	船舶
航空機		航空機	航空機		
		その他	その他パーソナルモビリティ		
その他				その他へ	その他

【今回の交通手段の種類】

- 【徒歩・自転車等】
1. 徒歩
 2. 車いす、電動車いす、シニアカー
 3. 自転車(電動アシスト付き含む)
 4. レンタサイクル・シェアサイクル
 5. パーソナルモビリティ(電動キックボード等)
- 【バイク・自動車】
6. 二輪(原付)
 7. 普通二輪・大型二輪
 8. 軽乗用車
 9. 乗用車
 10. 軽貨物車
 11. 貨物自動車
- 【公共交通等】
12. タクシー・ハイヤー
 13. ライドシェア
 14. 都市間バス・路線バス・コミュニティバス
 15. 送迎バス(スクールバス、福祉バス等)
 16. 観光バス、貸切バス
 17. デマンド交通(乗合タクシー、デマンドバス等)
 18. 路面電車
 19. 地下鉄
 20. 鉄道
 21. ロープウェイ、ケーブルカー等
- 【その他】
22. 航空機
 23. 船舶
 24. その他

※赤字は追加および表現を修正したもの

調査票(個人票…駐車・駐輪場の種類)

※手引き:このページでは『調査項目及びデータの標準的な仕様(令和6年6月 国土交通省 都市局 都市計画課)』を指す

ご議論を踏まえた個人票の修正に関する視点

- 「駐車場・駐輪場の利用実態把握」は**圏域が独自に設定する任意調査項目**となる。(手引き等に標準分類の記載なし)
- 道央都市圏では、第4回PT調査との比較を考慮すると共に、近年の利用実態を勘案し追加項目を設定。
- 加えて、**回答のしやすさに配慮**し、日常生活に身近な選択肢(自宅車庫等)が先に来るように順番を最適化。

前回調査の事例

今回調査の分類

	第4回道央PT調査		第5回道央PT調査	
駐車	1	月極駐車場	5	月極駐車場
	2	時間貸し駐車場 (含料金割引あり駐車場)	6	時間貸し駐車場(1回ごと含む)
	3	路上駐車場 (パーキングチケット)	9	路上駐車場(パーキングチケット)
	4	店舗施設等有料駐車場 (含料金割引あり駐車場)	7	店舗等の有料駐車場
	5	自宅車庫	1	自宅車庫(敷地内含む)
	6	勤務先・訪問先敷地内	2	勤務先・訪問先の敷地内
	7	店舗施設等無料駐車場	3	店舗等の無料駐車場
	8	他の空き地等	11	その他駐車場所
			8	シェアリング駐車場(個人宅の車庫など)
	9	路上(含駅前広場)	4	路上(駅前広場含む)
駐輪	10	駐車せず(停車のみ)	10	駐車せず(停車のみ)
			12	自宅敷地内
	11	駅前広場等の公共駐輪場 (含路上の駐輪場)	13	駅前広場等の公共駐輪場
	12	公共施設の付属駐輪場 (各学校・病院の駐輪場)	14	公共施設の付属駐輪場
	13	店舗等の民間駐輪場	15	店舗等の民間駐輪場
	14	路上・歩道上	16	路上・歩道上
	15	訪問先の敷地内	17	訪問先の敷地内
	16	他の空き地等	19	その他駐輪場所
			18	シェアサイクル専用ポート

【今回の駐車・駐輪場の種類】

【駐車場所・駐車場】

1. 自宅車庫(敷地内含む)
2. 勤務先・訪問先の敷地内
3. 月極駐車場
4. 時間貸し駐車場(1回ごと含む)
5. 店舗等の無料駐車場
6. 店舗等の有料駐車場
7. 路上(駅前広場含む)
8. 路上駐車場(パーキングチケット)
9. シェアリング駐車場(個人宅の車庫など)
10. 駐車せず(停車のみ)
11. その他駐車場所

【駐輪場所・駐輪場】

12. 自宅敷地内
13. 駅前広場等の公共駐輪場
14. 公共施設の付属駐輪場
15. 店舗等の民間駐輪場
16. 路上・歩道上
17. 訪問先の敷地内
18. シェアサイクル専用ポート
19. その他駐輪場所

※赤字は追加および表現を修正したもの

調査票(個人票…活動把握の項目)

活動把握項目の整理

参照:第9回 新たな都市交通調査愛系のあり方に関する検討会資料(国土交通省都市局)をもとに整理

- 活動把握に係る選択肢(活動の具体例)は、国が示す「調査項目及びデータの標準的な仕様」を参考に検討し設定。
- 国の検討資料では「非義務的活動の実施可否」に着目し、他調査における分類と対比した整理がなされている。

国の検討資料による分類

今回調査の分類

参考

分類		活動	第5回PT調査の活動の分類	社会生活基本調査の分類	TRB(2014)
義務	維持活動	睡眠	睡眠	1次活動	在宅活動
		家事・育児・介護・看護・身支度・自宅等での食事	自宅等での食事・家事・育児・介護看護・身支度	1次活動 2次活動	
	仕事・学校	仕事(デスクワーク)	仕事(デスクワーク)	2次活動	必須活動
		(会議・打合せ・営業等)	仕事(対面での会議・打合せ・営業等)		
		(販売・仕入れ等)	仕事(販売・仕入れ等)		
		(その他の仕事)	仕事(その他の仕事)		
		学業	通学先・通園先での学習		
		食料品・日用品の買物	食料品・日用品の買物		
	維持活動	つきそい	つきそい	3次活動	裁量活動
		通院・デイサービス	受診・デイサービス		
		食料品・日用品以外の買物	食料品・日用品以外の買物		
非義務的活動		外食・社交	外食・社交(SNS利用含む)	3次活動	在宅活動
		娯楽・文化活動	娯楽・文化活動		
		運動・散歩・ジョギング	散歩・ジョギング・運動		
		観光・行楽・レジャー	観光・行楽・レジャー		
		塾・習い事・学習	学習・習い事		
		その他私事	その他私事		
		休養・くつろぎ等自由な時間	休養・くつろぎ等		

社会生活基本調査における活動の分類

分類分類	活動活動
1次活動	睡眠
	身の回りの用事
	食事
2次活動	通勤・通学
	仕事(収入を伴う仕事)
	学業(学生が学校の授業やそれに関連して行う学習活動)
	家事
	介護・看護
	育児
	買い物
3次活動	移動(通勤・通学を除く)
	テレビ・ラジオ・新聞・雑誌
	休養・くつろぎ
	学習・自己啓発・訓練(学業以外)
	趣味・娯楽
	スポーツ
	ボランティア活動・社会参加活動
	交際・付き合い
	受診・療養
	その他

※交際のための食事は「交際・付き合い」

※赤字は追加および表現を修正したもの

※TRB(2014):Activity-Based Travel Demand Models:A Primera(2014)

世帯票と個人票の修正箇所まとめ

道央都市圏パーソナルトリップ調査

平日 秘個人票

調査対象者は整理番号で管理

世帯票にご記入のうち、5歳以上の方一人ひとりについて、本調査票へのご回答をお願いします。

以下では、右の調査日の午前3時から翌日の午前3時の1日についてご回答ください。

調査日 令和7年 月 日 曜日

はじめに 世帯票であなは何人目ですか 人目 ※世帯票の 3.00 ~ 6.00 からお答えください。

調査日の起床時刻・就寝時刻 起床時刻 午前 午後 時 分 就寝時刻 午前 午後 時 分

調査日は、外出しましたか 1 はい 2 いいえ

調査日は 予め記入

問1 1日ははじめ(午前3時)から出かけるまでの場所についてお答えください。

1 以下の1~3の番号の1つを○で囲んでください。

2 上記以外(具体的な所在地・施設名を記入してください)

3 この場所で行ったすべての活動について、それぞれの活動時間を表2から選択し、1~4を記入してください。

表2 活動時間

1 30分未満 2 30分以上 3 3時間未満 4 3時間以上 6時間未満 5 6時間以上

表3 交通手段の種類

表4 駐車・駐輪場の種類

表1 施設の種類

2番目以降の移動は、次頁に記入してください

休日を
日曜に変更

データ管理のため
トリップ数欄を
整理番号横に追加

道央都市圏パーソナルトリップ調査

日曜 秘個人票

世帯票にご記入のうち、5歳以上の方一人ひとりについて、本調査票へのご回答をお願いします。

以下では、右の調査日の午前3時から翌日の午前3時の1日についてご回答ください。

調査日 令和7年 月 日 曜日

はじめに 世帯票であなは何人目ですか 人目 ※世帯票の 3.00 ~ 6.00 からお答えください。

調査日の起床時刻・就寝時刻 起床時刻 午前 午後 時 分 就寝時刻 午前 午後 時 分

調査日は、外出しましたか 1 はい 2 いいえ

▲ 日曜調査への対応(変更点)

道央都市圏パーソナルトリップ調査

秘世帯票

世帯の居住年数と現住所をお答えください。

世帯の現住所 本調査票の郵送先と同じため記入の必要はありません。

世帯構成人員 記入例

世帯主との続柄 性別 年齢 職業 就業形態 就業先 通勤先

調査対象者は整理番号で管理

データ管理のため世帯人数を把握

▲ 世帯票の修正箇所

施設の種類の
交通手段の
種類、駐車・
駐輪場の種
類を再編

▲ 個人票の修正箇所

意識調査票の修正箇所

※個別に抜き出した箇所のほか、「誤字・脱字の修正」や「表現の適正化」などを全体的に実施

表現修正
「月1回も行かない場合」
→「月1回未満の場合」

文言を追加

表現方法を修正

選択肢を追加

文言を追加

選択肢を追加

選択肢を追加

回答欄を拡大

回答欄を拡大

道央都市圏パーソントリップ調査
④交通に関する意識調査票

この調査は、交通に関する意識をお聞きし、今後の交通政策を検討するための基礎的な資料を得ることを目的としています。
「世帯票」、「個人票」と併せて、回答への協力をお願い申し上げます。

はじめに
世帯票であなたは何人目ですか？
※世帯員の1人目から6人目までにお答えください。

I. あなたの普段の移動や公共交通の利用状況について、お伺いします。

問1 日常生活での買物先、通院先への移動（概ね1か月以内）についてお答えください。
2か所以上ある場合は2か所までお答えください。

問2 およそ10年前（2015年頃）と比べて、あなたの生活がどのように変化しましたか（外出頻度の増減、その理由）をお答えください。

【減った理由】
1. 他交通手段の方が短い時間で移動できるから
2. この手段での移動に不安があるから（運転に自信がない、利用方法が分かりづらいなど）
3. 免許保有状況が変化したから（返納、新規取得など）
4. 荷物を運びづらから
5. 環境への影響を気にしているから
6. 子ども、家族、知人を連れて移動しづらから
7. 住環境が変化したから（引っ越しなど）
8. 交通環境が変化したから（公共交通の便数、停留所の位置など）
9. 健康のことを考えているから
10. 身体的な負担が大きくなったから（以前に比べて体力が落ちたなど）
11. その他

II. 自動車利用に関するあなたの考え方についてお伺いします。

問1 ご自身で自動車を運転する場合について、あなたの考えに近いものを選び、該当する番号をそれぞれ記入してください。運転しない方は、問2にお進みください。

【考え方】 1. とてもそう思う 2. ややそう思う 3. どちらでもない 4. あまりそうは思わない 5. 全くそうは思わない

問2 あなたのまわりの道路の使い方・使われ方について、あなたの考えに近いものを選び、該当する番号をそれぞれ記入してください。

【考え方】 1. とてもそう思う 2. ややそう思う 3. どちらでもない 4. あまりそうは思わない 5. 全くそうは思わない

・道路が渋滞しているときは、空いている道路を選んで運転する。
・住宅地は子どもの飛び出しなどの危険があるため、近道であっても運転しない。
・多少遠回りになっても、目的地まで早く到着できる道路を選んで運転する。
・時間がかかっても、走り慣れた道路を選んで運転する。
・経路を変えても、目的地に到着する時間はあまり変わらないと思う。
・環境に配慮し、車両の選択や運転の仕方に気を付けている。

・速度が高い自動車は、幹線道路など幅の広い道路を走るべきだと思う。
・住宅地を抜けるように、高い速度で走る車が多いと思う。
・通学時間帯などは、小・中学校の周囲で交通規制を行うべきだと思う。
・駅の近くや繁華街など、歩行者が多い道路では、極力自動車は走らない方がよい。
・まちなかの道路であっても、イベントで賑わうより車が走れる方が重要だと思う。
・災害時は緊急車両が駆け付けられるように、優先的に走行できるべきだと思う。
・物流を担う大型車は、歩行者との混在が少ない道路を走るべきだと思う。

調査票(意識調査票の修正箇所)

意識調査票の修正箇所

※個別に抜き出した箇所のほか、「誤字・脱字の修正」や「表現の適正化」などを全体的に実施

Ⅲ. 雪が多くて寒い時期(冬)の移動についてお伺いします。雪がない時期(秋)と比べて、外出の状況がどのように変わるかお答えください。

問1 秋と冬で外出頻度は変わりますか。

秋の外出頻度 冬の外出頻度 変わる理由

・通勤や通学 ① 変わらない ② 変わる() ③ 変わる()

・買い物 ① 変わらない ② 変わる() ③ 変わる()

・通院 ① 変わらない ② 変わる() ③ 変わる()

・その他の私用 ① 変わらない ② 変わる() ③ 変わる()

・業務での移動 ① 変わらない ② 変わる() ③ 変わる()

※1 娯楽、食事、散歩、観光等
※2 勤務先以外での打合せ、配達、仕入れ等

問2 秋と冬で外出する際の交通手段は変わりますか。

秋の交通手段 冬の交通手段 変わる理由

・通勤や通学 ① 変わらない ② 変わる() ③ 変わる()

・買い物 ① 変わらない ② 変わる() ③ 変わる()

・通院 ① 変わらない ② 変わる() ③ 変わる()

・その他の私用 ① 変わらない ② 変わる() ③ 変わる()

・業務での移動 ① 変わらない ② 変わる() ③ 変わる()

問3 秋と冬で自宅を出発する時刻は変わりますか。

通勤や通学 ① 変わらない ② 変わる() ③ 変わる()

買い物 ① 変わらない ② 変わる() ③ 変わる()

通院 ① 変わらない ② 変わる() ③ 変わる()

その他の私用 ① 変わらない ② 変わる() ③ 変わる()

業務での移動 ① 変わらない ② 変わる() ③ 変わる()

問1～問3の変わる理由

1. 雪で安全に歩行できないから
2. 雪道の運転が不安だから
3. 予定の時間通りに移動できないから
4. 雨の降る前に用事を済ませたいから
5. 移動しなくても済むよう行動を変えるから
(テレワーク・ネットショッピング等)
6. 営業時間が限定されているから(季節営業)
7. 送迎がなくなるから
8. 自転車を利用できなくなるから
9. その他

Ⅳ. 地震などの災害時や大雪の移動について、あなたの考えをお伺いします。

問1 地震や水害などに負けないように、あなたが特に重要だと考えるものは何ですか。重要だと考えた理由()をつけてください。(複数回答可)

① 災害発生時に迅速かつ正確な情報が提供されること
② 被災地へ速やかに救援物資が届くこと
③ 災害発生時に避難できる施設が確保されること
④ 避難先で必要な物資(食料、飲料、寝具等)が確保されること
⑤ 一つの道路が通れなくなっても、代わりになる道路があること
⑥ 通行止めとなる道路が少ないこと
⑦ いろいろな交通手段で被災地にアクセスできること
⑧ 災害発生時でも公共交通の運行が継続されること
⑨ その他()

問2 過去に大雪が発生したとき、みなさんの移動に大きな影響を与えたこと、これまでにあなたが経験した大雪の状況を思い浮かべて、その状況について、あなたが取った行動について、該当するものに○をつけてください。(複数回答可)

① 移動できなくなったので外出をやめた
② 移動の途中で交通機関の運休や遅れが心配なので、自転車や徒歩で外出した
③ 普段利用している交通機関の運休や遅れが心配なので、家族に送迎してもらった
④ 普段利用している交通機関の運休や遅れが心配なので、家族に送迎してもらった
⑤ 自転車や徒歩での移動は諦めて、歩いて移動した
⑥ 大雪であっても交通手段を変えず、いつも通り外出した
⑦ 仕事(仕事や買物など)はオンライン上で行うことにして、外出をやめた
⑧ 普段からオンライン上で仕事(仕事や買物など)を済ませていたため、影響はなかった
⑨ 大雪で移動手段が分からなかった
⑩ その他()

問3 問2でお答えいただいた大雪の状況を思い浮かべてお答えください。あなたが経験した大雪の状況を思い浮かべて、その状況について、あなたが取った行動について、該当するものに○をつけてください。(複数回答可)

① 外出する() ② 外出しない()

【外出する理由】
1. 職場や学校を休むことができないから
2. 病院などへ行かなければならないから
3. 特に影響を受けたいから
4. その他

【外出しない理由】
1. 交通機関の運休や遅れで目的地へたどり着けないから
2. オンライン上で仕事や買物を済ませることができないから
3. 移動が大変になり、身体への負担が大きすぎるから
4. 職場や学校が休みの日に指定されているから
5. 施設の休業により、子どものお世話や親族の介護が必要になると想定されるから
6. その他

問4 問2でお答えいただいた大雪の状況を思い浮かべてお答えください。あなたが経験した大雪の状況を思い浮かべて、その状況について、あなたが取った行動について、該当するものに○をつけてください。(複数回答可)

① 大雪が発生したとき、みなさんの移動に大きな影響を与えたこと、これまでにあなたが経験した大雪の状況を思い浮かべて、その状況について、あなたが取った行動について、該当するものに○をつけてください。(複数回答可)

① 移動できなくなったので外出をやめた
② 移動の途中で交通機関の運休や遅れが心配なので、自転車や徒歩で外出した
③ 普段利用している交通機関の運休や遅れが心配なので、家族に送迎してもらった
④ 普段利用している交通機関の運休や遅れが心配なので、家族に送迎してもらった
⑤ 自転車や徒歩での移動は諦めて、歩いて移動した
⑥ 大雪であっても交通手段を変えず、いつも通り外出した
⑦ 仕事(仕事や買物など)はオンライン上で行うことにして、外出をやめた
⑧ 普段からオンライン上で仕事(仕事や買物など)を済ませていたため、影響はなかった
⑨ 大雪で移動手段が分からなかった
⑩ その他()

問5 大雪が発生したとき、みなさんの移動に大きな影響を与えたこと、これまでにあなたが経験した大雪の状況を思い浮かべて、その状況について、あなたが取った行動について、該当するものに○をつけてください。(複数回答可)

① 交通事業者のホームページで最新の交通情報を確認している
② 官公庁のホームページで最新の交通情報を確認している
③ テレビの交通情報を確認している
④ ラジオの交通情報を確認している
⑤ 車のナビゲーションシステムで最新の交通情報を確認している
⑥ 車のナビゲーションシステムで最新の交通情報を確認している
⑦ 車のナビゲーションシステムで最新の交通情報を確認している
⑧ 車のナビゲーションシステムで最新の交通情報を確認している
⑨ 車のナビゲーションシステムで最新の交通情報を確認している
⑩ その他()

問6 大雪が発生したとき、みなさんの移動に大きな影響を与えたこと、これまでにあなたが経験した大雪の状況を思い浮かべて、その状況について、あなたが取った行動について、該当するものに○をつけてください。(複数回答可)

① 大雪が発生したとき、みなさんの移動に大きな影響を与えたこと、これまでにあなたが経験した大雪の状況を思い浮かべて、その状況について、あなたが取った行動について、該当するものに○をつけてください。(複数回答可)

① 移動できなくなったので外出をやめた
② 移動の途中で交通機関の運休や遅れが心配なので、自転車や徒歩で外出した
③ 普段利用している交通機関の運休や遅れが心配なので、家族に送迎してもらった
④ 普段利用している交通機関の運休や遅れが心配なので、家族に送迎してもらった
⑤ 自転車や徒歩での移動は諦めて、歩いて移動した
⑥ 大雪であっても交通手段を変えず、いつも通り外出した
⑦ 仕事(仕事や買物など)はオンライン上で行うことにして、外出をやめた
⑧ 普段からオンライン上で仕事(仕事や買物など)を済ませていたため、影響はなかった
⑨ 大雪で移動手段が分からなかった
⑩ その他()

Ⅴ. 多くの人が集まるまちなか(都心や駅周辺、大きな商業施設や商店街の周辺など)を思い浮かべてお答えください。

問1 あなたは、どのようなまちなかが魅力的だと考えますか。あなたの考えに近いものに○をつけてください。(複数回答可)

① 季節問わず、まち歩きが楽しめる通りや場所が多いこと
② 気候に休めや滞在できる場所があること
③ 様々な人との出会いや交流が生まれる場所があること
④ 多くの人で賑わっていること
⑤ 天候に関わらず訪れやすいこと(地下通路、アーケード、広など)
⑥ バリアフリーで誰もが移動しやすいこと
⑦ 歩行者優先の空間が確保され、安全・安心に通行できること
⑧ 訪れたくなるようなイベントが開催されていること
⑨ 駐輪場が利用しやすいこと、車で訪れやすいこと
⑩ その他()

問2 まちなかが魅力的になると、あなたの活動にどのような短絡的影響を与えますか。あなたの考えに近いものに○をつけてください。(複数回答可)

① まちなかが滞在時間が長くなると思う
② まちなかへ外出する機会が増えると思う
③ まちなかへ歩いて出かける機会が増えると思う
④ まちなかが歩行者に優しい空間になると、車が減り、安心して移動できると思う
⑤ まちなかが魅力的なまちに暮らしたいと思う
⑥ その他()

問3 まちなかを魅力的にするために、移動を助ける様々な取組が考えられます。どのような取組がされているか、あなたが大切だと考えるものに○をつけてください。(複数回答可)

① 鉄道やバス、タクシー、自転車など、交通機関とうりし車輌がしやすくなっている
② 地下や上空の道路が整備され、地上を通行しなくても移動しやすくなっている
③ エレベーターやエスカレーターが整備され、上下移動がしやすくなっている
④ 案内表示が分かりやすく、移動しやすくなっている
⑤ トラックが配達するために停車する場所(道路、物置場)が確保されている
⑥ 送迎車両の乗り降り場所や駐輪場が確保されている
⑦ 人が歩きやすい道路や、車やバイクが走りやすい道路など、場所ごとに特徴が分けられている
⑧ 車庫がない時は、車を安全に保管しなくてもよい道路が確保されている
⑨ 自転車を使いやすい環境(通行位置の明示、駐輪場の確保など)が整っている
⑩ シェアサイクルを借りやすい場所が多くあり、利用しやすくなっている
⑪ 観光バス用の乗降場や待機場所が確保され、路上の乗り降りや待機がなくなっている
⑫ 駅やバスターミナルと住宅、商業施設などの機能がまとまって整備されている
⑬ その他()

ご協力ありがとうございました

表現方法を修正

外出する理由も答えるように修正

表現修正
「インターネット」→「オンライン上」表現修正
「食料品などはある程度備蓄」→「食料や水を備蓄」

選択肢を追加

表現修正
「インターネット」→「オンライン上」

問3から問5へ移動

設問追加

表現方法を修正

選択肢を拡大

選択肢を追加

撮影年月を追加

1 移動できそうになかったので外出での用事をやめた
7 仕事や買物が行えないため外出をやめた
同様の意味であるため、7を削除表現修正
「インターネット」→「オンライン上」

VからIV. 問5へ変更

調査物件の特徴(お願いはがき)

- 札幌市バージョンとそれ以外の自治体バージョンの2パターンを作成。
- 札幌市バージョンでは知事と市長、それ以外の自治体バージョンでは知事の写真を掲載。

凡例： 調査パターン毎に異なる箇所

【表面：札幌市バージョン】

郵便はがき

料金後納郵便

北海道

札幌市

道央都市圏パーソントリップ調査

ご協力をお願いします

お問い合わせ先

道央都市圏パーソントリップ調査サポートセンター
TEL 0120-000-0000 (9:00~17:00 土日祝休)
〒000-0000
札幌市〇〇区〇〇町〇番〇号 〇〇ビル〇階
(調査受託者：〇〇〇〇〇〇〇〇)

調査実施に関するお問い合わせ先

北海道建設部まちづくり局都市計画課
TEL 011-000-0000
札幌市まちづくり政策局総合交通計画課
TEL 011-000-0000

調査主体

北海道 札幌市 小樽市 岩見沢市 江別市
千歳市 恵庭市 北広島市 石狩市 当別町
南幌町 長沼町 新篠津村

【返還先】

〒000-0000 札幌市〇〇区〇〇町〇番〇号
〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

【裏面：札幌市バージョン】

道央都市圏パーソントリップ調査

ご協力をお願いします

日ごろより、道央都市圏のまちづくりに格別のご理解とご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。□
このたび、北海道と道央の12市町村が協力し、道央都市圏にお住まいの皆さまのある1日における移動と活動を把握する調査を実施いたします。
いただいたご回答は、将来の交通やまちづくりの検討に役立ててまいります。

なお、この調査の対象者は、道央都市圏にお住まいの方の中から、あなたのご家庭をはじめとする約24万世帯の方を無作為に抽出させていただきました。

つきましては、本はがきの到着から約2週間後に調査を封入した封筒をお送りいたしますので、調査の趣旨をご理解いただき、ぜひご協力いただけますようお願い申し上げます。

知事写真

市長写真

北海道知事 鈴木直道

札幌市長 秋元克広

【表面：札幌市以外バージョン】

郵便はがき

料金後納郵便

北海道

道央都市圏パーソントリップ調査

ご協力をお願いします

お問い合わせ先

道央都市圏パーソントリップ調査サポートセンター
TEL 0120-000-0000 (9:00~17:00 土日祝休)
〒000-0000
札幌市〇〇区〇〇町〇番〇号 〇〇ビル〇階
(調査受託者：〇〇〇〇〇〇〇〇)

調査実施に関するお問い合わせ先

北海道建設部まちづくり局都市計画課
TEL 011-000-0000

調査主体

北海道 札幌市 小樽市 岩見沢市 江別市
千歳市 恵庭市 北広島市 石狩市 当別町
南幌町 長沼町 新篠津村

【返還先】

〒000-0000 札幌市〇〇区〇〇町〇番〇号
〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

【裏面：札幌市以外バージョン】

道央都市圏パーソントリップ調査

ご協力をお願いします

日ごろより、道央都市圏のまちづくりに格別のご理解とご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。□
このたび、北海道と道央の12市町村が協力し、道央都市圏にお住まいの皆さまのある1日における移動と活動を把握する調査を実施いたします。
いただいたご回答は、将来の交通やまちづくりの検討に役立ててまいります。

なお、この調査の対象者は、道央都市圏にお住まいの方の中から、あなたのご家庭をはじめとする約24万世帯の方を無作為に抽出させていただきました。

つきましては、本はがきの到着から約2週間後に調査を封入した封筒をお送りいたしますので、調査の趣旨をご理解いただき、ぜひご協力いただけますようお願い申し上げます。

知事写真

北海道知事 鈴木直道

札幌市以外は
知事の写真のみ掲載

調査票(調査物件)

調査物件の特徴(送付用封筒)

- ❑ 札幌市バージョンとそれ以外の自治体バージョンの2パターン、付帯調査の種類により2パターンの計4パターンを作成。
- ❑ 宛名はシールに印刷したラベルを貼付することを基本とする。

【札幌市、日曜調査バージョン】

【札幌市以外、日曜調査バージョン】

【札幌市、意識調査バージョン】

【札幌市以外、意識調査バージョン】

転送不要

道央都市圏パーソントリップ調査 調査票在中

北海道 札幌市

道央都市圏パーソントリップ調査にご協力をお願いいたします

ご確認ください

同封物一覧

- ✓ご協力のお問い合わせ用紙
- ✓世帯票(1枚)
- ✓道産用封筒(1枚)
- ✓調査票の記入のしかた(1枚)

※この封筒は調査対象となられたすべての世帯に送付しています。
すでに、調査にご協力いただけない世帯をご連絡いただいた方には、
行き違いとなりましたことをお詫言いたします。

お問い合わせ先 道央都市圏パーソントリップ調査サポートセンター
TEL 0120-000-0000 (9:00~17:00 土日祝休)
〒000-0000 札幌市〇〇区〇〇町〇〇番〇号 〇〇ビル〇階

調査票に添える 北海道建設まちづくり課 都市計画課
お問い合わせ先 TEL 011-000-0000

調査主体 北海道 札幌市 小樽市 石狩市 当別町
千歳市 恵庭市 北広島市 新篠津村
南幌町 長沼町

【返送先】 〒000-0000 札幌市〇〇区〇〇町〇〇番〇号
〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

転送不要

道央都市圏パーソントリップ調査 調査票在中

北海道

道央都市圏パーソントリップ調査にご協力をお願いいたします

ご確認ください

同封物一覧

- ✓ご協力のお問い合わせ用紙
- ✓世帯票(1枚)
- ✓道産用封筒(1枚)
- ✓調査票の記入のしかた(1枚)

※この封筒は調査対象となられたすべての世帯に送付しています。
すでに、調査にご協力いただけない世帯をご連絡いただいた方には、
行き違いとなりましたことをお詫言いたします。

お問い合わせ先 道央都市圏パーソントリップ調査サポートセンター
TEL 0120-000-0000 (9:00~17:00 土日祝休)
〒000-0000 札幌市〇〇区〇〇町〇〇番〇号 〇〇ビル〇階

調査票に添える 北海道建設まちづくり課 都市計画課
お問い合わせ先 TEL 011-000-0000

調査主体 北海道 札幌市 小樽市 石狩市 当別町
千歳市 恵庭市 北広島市 新篠津村
南幌町 長沼町

【返送先】 〒000-0000 札幌市〇〇区〇〇町〇〇番〇号
〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

転送不要

道央都市圏パーソントリップ調査 調査票在中

北海道 札幌市

道央都市圏パーソントリップ調査にご協力をお願いいたします

ご確認ください

同封物一覧

- ✓ご協力のお問い合わせ用紙
- ✓世帯票(1枚)
- ✓道産用封筒(1枚)
- ✓調査票の記入のしかた(1枚)

※この封筒は調査対象となられたすべての世帯に送付しています。
すでに、調査にご協力いただけない世帯をご連絡いただいた方には、
行き違いとなりましたことをお詫言いたします。

お問い合わせ先 道央都市圏パーソントリップ調査サポートセンター
TEL 0120-000-0000 (9:00~17:00 土日祝休)
〒000-0000 札幌市〇〇区〇〇町〇〇番〇号 〇〇ビル〇階

調査票に添える 北海道建設まちづくり課 都市計画課
お問い合わせ先 TEL 011-000-0000

調査主体 北海道 札幌市 小樽市 石狩市 当別町
千歳市 恵庭市 北広島市 新篠津村
南幌町 長沼町

【返送先】 〒000-0000 札幌市〇〇区〇〇町〇〇番〇号
〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

転送不要

道央都市圏パーソントリップ調査 調査票在中

北海道

道央都市圏パーソントリップ調査にご協力をお願いいたします

ご確認ください

同封物一覧

- ✓ご協力のお問い合わせ用紙
- ✓世帯票(1枚)
- ✓道産用封筒(1枚)
- ✓調査票の記入のしかた(1枚)

※この封筒は調査対象となられたすべての世帯に送付しています。
すでに、調査にご協力いただけない世帯をご連絡いただいた方には、
行き違いとなりましたことをお詫言いたします。

お問い合わせ先 道央都市圏パーソントリップ調査サポートセンター
TEL 0120-000-0000 (9:00~17:00 土日祝休)
〒000-0000 札幌市〇〇区〇〇町〇〇番〇号 〇〇ビル〇階

調査票に添える 北海道建設まちづくり課 都市計画課
お問い合わせ先 TEL 011-000-0000

調査主体 北海道 札幌市 小樽市 石狩市 当別町
千歳市 恵庭市 北広島市 新篠津村
南幌町 長沼町

【返送先】 〒000-0000 札幌市〇〇区〇〇町〇〇番〇号
〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

宛名貼付位置
※ラベルシールを想定

凡例 : 調査パターン毎に異なる箇所